

2020年6月23日

保護者の皆様

横須賀学院中学校・高等学校
校長 川名 稔

「クラブ活動再開に向けて」

入梅とともに不順な天候が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。6月1日から分散登校が始まり、3週間が経ちました。まだ、通常の状態に戻るには時間がかかりそうですが、日々、前向きな気持ちで過ごしてくれることを願っています。学校として今後も細心の注意を払い、感染防止のための対応をまいりますので、ご家庭におかれましても引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

その現況下において、本校では生徒たちの安心・安全確保を何より最優先に考えつつ、教育活動全般の保障にも最善を尽くすべく、今回、クラブ活動の再開について、17日中学・高等学校の職員会議を開催いたしました。その結果、県教育委員会からのガイドラインに基づいて、今後の方針を下記のように決定いたしました。

尚、ご存じのように県教育委員会からの指導、支援の下、代替大会の開催を検討している連盟、団体もあります。その際は生徒、保護者の方々の意向を最大限に尊重し、後押ししたいと考えています。従って、その大会要項や状況によっては柔軟な措置を執る場合もあります。その節はどうぞご理解、ご協力をお願いいたします。

現在の段階では、神奈川県高等学校野球連盟が8月1日から23日までトーナメント形式の大会を予定しているとの発表がありました。それを受け、本校の野球部より出場の申し出があり、大会に向けて柔軟な対応の要望がありました。3ヶ月の活動自粛による、体力の低下、熱中症対策、怪我防止等の様々な懸念を慎重に協議した結果、6月27日(土)、7月4日(土)の両日、40分間の校内練習を許可いたしました。

どうぞ承知おきください。

以上

1. 全体計画

日付	登校概要	クラブ活動	活動条件
6/29～7/5	時差短縮Ⅰ 全生徒毎日 半日登校	制限付き 段階的实施	・ミーティングのみ可 ・対面型で実施する場合は、平日放課後のみ週2日まで（1日40分以内） ・オンラインも積極的に活用する
7/6～26	時差短縮Ⅱ-1 全生徒毎日 全日登校	制限付き 段階的实施 仮入部期間 7/6～10	・平日放課後のみ週3日まで ・活動時間は準備・片付け含め65分以内 ・校内、自校生徒のみで活動 ・クラブコーチの参加可 ・一学期末試験（7/20～23）に伴い、7/13～22は活動自粛期間
7/27～7/31	時差短縮Ⅱ-2	制限付き 段階的实施	・週4日まで ・活動時間は準備・片付け含め65分以内 ・校内、自校生徒のみで活動
8/1～23	夏季休業	制限付き 段階的实施	・週4日まで ・活動時間は準備・片付け含め180分以内 ・校内、自校生徒のみで活動
8/24～	2学期スタート 通常登校	ほぼ 制限解除	・校外活動可 ・当面は県外遠征や校内外の合宿は自粛

*8/1～23の夏季休業中の登校は9：00以降。

*6/29～8/23の制限付き段階的实施期間の最終下校は17：30。

2. 制限付き段階的实施期間（7/6～8/23）の活動について

1) 身体接触や近距離での練習は避けること

- ・マスクを外しての活動は2m以上の距離を保つ。
- ・息の上がる強度の強い運動や楽器演奏、声出し等を行う際は、さらに距離を取る。

2) 以下の感染症対策を十分に理解、実施した上で活動すること

- ・3密（密接・密集・密閉）を避ける。
- ・生徒、顧問は活動前後の手洗いを必ず実施する。そのためのタオルやハンカチ等を持参する。（手拭き専用としてのタオル持参が望ましい。）
- ・活動前に生徒、顧問共に、体温の確認、『咳』『倦怠感』『味覚・嗅覚異常』『息苦しさ』等の症状の有無を確認する。正門に設置してあるサーマルカメラは、授業のない日は稼働しないため、登校前の検温を各自必ず行うこと。
- ・できる限り道具の共有は避ける。特にボトルやコップ等、口に触れる物の共有は行わない。タオル等、個人の備品の貸し借りも行わない。
- ・部員が口にするものを作る際は、必ずマスクを着用する。

- ・製氷機の使用時は必ず顧問が付き添い、衛生管理に努める。使用者は使用前に手洗いをを行い、マスクを着用する。氷を取る際は原則スコップを使わず、ビニール袋やビニール手袋の単回使用とする。
- ・活動のために外したマスクは、個人できちんと管理し、机上や床面等にそのまま置くことのないようにする。紛失にも注意する。

3) 片付け・消毒について

- ・体育館フロアのモップがけなど片付けについては、生徒が行ってかまわないが、使用前後の手洗いを必ず実施する。
- ・部室、共用の道具、更衣場所等については顧問が責任をもって消毒する。

4) 更衣について

- ・体育館1階の更衣室や各部室での更衣は認めない。
- ・クラブ毎に割り当てられた更衣室（教室）の使用を認める。

5) 監督

- ・複数顧問制を生かし、少なくとも顧問1名は現場で生徒たちの活動を監督する。
- ・顧問は、生徒たちが下校するまで責任をもって見届ける。

6) 夏の合宿について

- ・校内外を問わず、合宿の実施は禁止する。

7) 活動にあたっては、生徒・保護者による参加・不参加の判断を尊重する。また、その選択によって生徒が不利益を被ることのないように配慮する。

3. 熱中症対策

今シーズンは、およそ3ヶ月にわたって外出自粛の生活をしてきたため、体力の低下、暑熱順化の遅れなど、熱中症発症リスクの高い状態にあります。熱中症は死に至る疾患ですが、ほぼ100%予防できるものでもあります。熱中症に関しては『ゼロリスク』を目指しましょう。

1) 熱中症予防の原則

- ・体調の確認：体の不調はないか、寝不足はないか、食事はきちんと摂れているか、など。
- ・水分補給：自由に水分を摂れる環境に加え、強制的に水分補給をする時間を設定する。
- ・活動内容の設定：徐々に時間、強度を上げるなど、段階的な活動の展開をする。また、段階を進めても無理をせず、前の段階に戻ることも厭わない。
- ・暑さ指数（WBGT）：暑さ指数による運動指針にできる限り則り活動する。

2) 熱中症対策で用意しておく良いもの

- ・スポーツ飲料
- ・経口補水液
- ・冷却用の氷
- ・氷のうやビニール袋など氷を入れるもの
- ・うちわや扇風機などの送風器具
- ・バスタオル（体を冷やすのに使用する）
- ・体温計

3) 暑さ指数 WBGT について

WBGT 測定器を A グラウンドと B グラウンドの間付近に 1 台、C グラウンド付近に 1 台設置します。また、アリーナおよび松尾ホールにはすでに環境管理温湿度計を設置してあります。

WBGT	熱中症予防 運動指針	
ほぼ安全 WBGT21℃未満	適宜水分補給	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。
注意 WBGT21～25℃	積極的に水分補給	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
警戒 WBGT25～28℃	積極的に休憩	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
嚴重警戒 WBGT28～31℃	激しい運動は中止	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
危険 WBGT31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。

4) マスクについて

熱中症予防の観点から、マスクを着用しての運動は望ましくありません。また、活動内容によってはマスクを着用できないこともあるかと思います。活動を行う際のマスクの取り扱いと内容については以下の点に注意してください。

- ・運動をするときはマスクを外して行う。（外さなければならない、ということではなく、本人の希望によって着用も可。）
- ・マスクを外しての活動は十分な距離（最低 2m）をとり、内容（運動強度や息を強く吐くなど）によってはそれ以上の距離をとること。
- ・マスクを外しての活動を行う場所は、十分な換気を行うこと。
- ・マスクを着用しての活動を行う場合は、脱水症、熱中症に気をつけ、エアコンを使用できる場合はそれも活用すること。
- ・布マスクは、汗等で濡れると顔に張り付きやすく窒息の恐れがあるため、特に注意が必要。

4. 運動部におけるけが予防

熱中症同様、特に運動部はけがの予防についても十分な注意が必要です。どの生徒も 4 ヶ月以上のブランクがあります。練習時間、運動強度を徐々に上げるなど、段階的な活動展開を心がけましょう。